

災害と情報伝達

— デマ情報・情報格差・情報共有 —

大規模な自然災害が発生した時、避難情報や炊き出し情報などを迅速・正確に伝達・共有していくことは、生き延びる上で極めて重要なこととなる。しかし、熊本地震で私たちが経験したように、震災直後にはデマ情報が流れ、スマートフォンを持たない高齢者に情報が行き渡らないなど様々な問題が起きた。復旧の過程においても、支援情報の格差が生じたり、県外避難者への情報伝達が課題となったりした。本セミナーでは、熊本地震よりもさらに混沌とした状況になった東日本大震災後の福島原発事故を紐解きながら、災害と情報伝達の諸問題について考えを深めていきたい。

日時 2017年**11月28日(火)**
12:50~14:20

場所 熊本大学 黒髪北キャンパス

文・法学部棟1階 **A2教室**



※ご来場の際は、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします

講師 **佐々木 康文** (福島大学行政政策学類 教授)

司会 **奥住 弘久** (熊本大学大学院人文社会科学部法学系 教授)

【お問い合わせ】

熊本大学大学院社会文化科学研究科
社会人大学院教育支援センター

Tel/Fax:096-342-2390 E-mail:full1102@kumamoto-u.ac.jp

事前申込不要・参加費無料